

農山漁村地域整備計画 事後評価調書

計画名	佐賀県環境を育む森林づくり計画(第3期)
計画策定主体	佐賀県
対象市町	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町、玄海町、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町(20市町)
計画期間	令和2年度～令和6年度(5カ年間)
実施期間(繰越含む)	令和2年度～令和7年度(6カ年間)

1. 交付対象事業の進捗状況				
5カ年間で71地区を本計画に位置付けて事業を実施した。 進捗率は100%であり、コスト縮減を図りながら、計画どおりの事業進捗が図られた。				
対象事業	種別	地区数	内訳	
上段:計画 下段:実績	①対象事業	(71) 71	森林整備事業(34地区) 治山事業(37地区)	
全体事業費	種別	事業費(千円)		進捗率(%) (ii)÷(i)
		計画(i)	実績(ii)	
	対象事業	1,790,869	1,790,869	100%

2. 事業効果の発現状況	
①森林整備事業	・路網整備が進んだことで木材搬出の効率化の促進が図られた。 ・森林管理道の開設などにより、間伐などの森林整備が実施され、森林の有する公益的機能の維持・増進が図られた。
②治山事業	・荒廃地の復旧及び機能の低下した森林の整備を重点的に実施し、山地災害防止機能が確保される集落の増加が図られた。

3. 成果目標の目標値の実現状況					
定量的指標	指標項目	目標値 (i)	実績値 (ii)	達成率 (ii)÷(i)	備考
①県産木材利用促進のため、県産木材(丸太)生産量を14万3千㎡(H25を基準年)を21万㎡に増加させる。	県産木材(丸太)生産量	210千㎡	153千㎡	72.9%	未達成※
②山地災害防止の機能向上が早急に必要な山地災害危険地区数2, 356箇所のうち令和6年度までに980箇所(着手率42%)まで向上させる。	山地災害危険地区着手数	980箇所/ 2356箇所	993箇所/ 2360箇所	101.3%	達成
	山地災害危険地区着手率	42.0%	42.1%	100.2%	
未達成※ 計画段階から森林組合などの林業事業体の従事者が減少したこと、また、令和5年7月豪雨により県内の多くの林道が被災したことにより、計画的な森林整備が進まなかったことなどの要因から、県産木材(丸太)生産量の目標達成ができなかった。(参考:計画段階から林業従事者が約1割以上減少 R1:270名→R6:236名)					

4. 今後の方針
【森林整備事業】 ・完成路線及び継続路線の共用区間については、適正な維持管理を行い、持続可能な林業経営と地域の実情にあった森林整備を推進するとともに、木材の有効活用及び森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、必要な造林、間伐等の森林整備を引き続き積極的に推進する。 ・当計画では、目標値の達成度が十分でなかったため、整備計画(令和7年度～令和11年度)を継続し、目標値の達成に向けて、新規路線の計画及び継続路線の早期完成、事業効果の早期発現に努めていく。 【治山事業】 ・未だ未着手となっている山地災害危険地区については、更に事業効果の発現に向けて事業実施を推進し、着手率の増加を図っていく。 ・また、継続地区及び今後新規着手する地区については、整備計画年度を令和7年度～令和11年度(5年間)として、自然災害に強い農山漁村づくりに取り組んでいくとともに、災害発生の危険性が高い山間集落の更なる保全に努めていく。